

四賀地区 図書だより

令和8年8月1日号

発行 四賀公民館図書視聴覚委員会
(事務局 TEL 64-3112)

新着本の紹介

戦争のない世界へ

世界秩序が最近壊れていると感じるのは私だけでしょうか。突然の攻撃、侵略、終わらない戦い、停戦しても危うい合意。戦争の恐ろしさ、愚かさを戦争をしている国の首長たちは知っているはずです。そして、世界中の人々が悲しみ、苦しんでいることを。

絵本からでも伝えられる平和の尊さを、これからの子どもたちに伝えなければいけないと思います。みんなで、手を取りあって平和な世界を願いましょう。



『ブティック』

池井戸潤 著



『はくしむるち』

豊永浩平 著



『謎の香りはパン屋から2』

土屋うさぎ 著



『ウイルス』

真山仁 著



『ぬすびと』

寺地はるな 著



『六月の満月』

一栗ライオン 著



『青のナースシューズ』

藤岡陽子 著



『異常に非ず』

桜木紫乃 著



『ふつうの家族』

辻堂ゆめ 著



『空き家と移住』

垣谷美雨 著



『新・戦争のつくりかた』

りぼん・ぷろじえくと 文

戦争を始めるための指南書ではありません。2014 年発行の本（本文は 2004 年）ですから、2026 年の現在までを描いているわけでもありません。予言の書にも見えてしまうのは、戦争に向かう道筋は歴史をなぞるように人間が作るものだから。予測不能な天災でも事故でもないのです。だから止めることができるのも人間。



『雌鳥は夜に羽ばたく』

新堂冬樹 著



『コズミック・ガール 宙わたる教室』

伊与原新 著



『ノスタルジア』

島本理生 著



『日本買収 団塊世代の天命』

牛島信 著



『AIとデジタルで思い出を永久保存する本』

AIビジネス研究会 著



『風まかせ十二月月』

柳家三三 著



『老後がめんどくさい』

勢古浩爾 著



『ボケない人は、今日を楽しんでいる』

浅川雅晴 著



『それ犯罪かもしれない図鑑』

小島洋祐 監修



『のらねこノラ』

すげいずみ 作



『まゆとてんぐ』

富安陽子 文



『地球をほる』

川端誠 作

編集後記

新築から 10 年でツバメの巣が 7 個目に。こちらにとって不都合な場所で巣作りが始まると、移動してもらうべく半月余りの攻防戦が始まります。

「仲良く」ってわけにいかなくとも互いのメリットのために何とか折り合っていくのが戦略的互惠関係ってやつですかね。家を気に入ってもらえているのは悪い気はしません。